

お選
びな
され



左半分へ

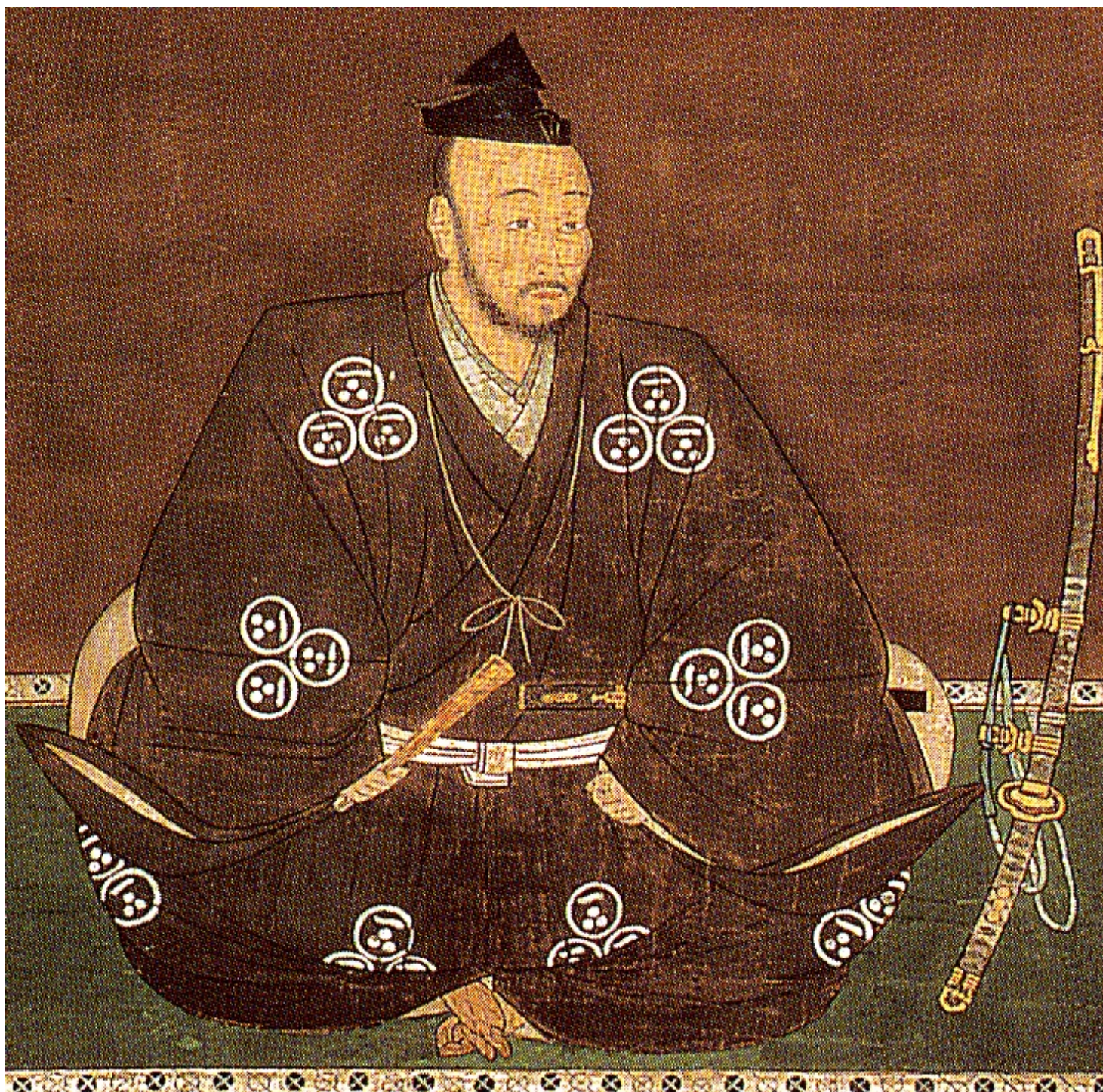


右半分へ



一文字に三つ星が
我が毛利の家紋じゃ





毛利元就

もつりもとなり

第二十三 共同

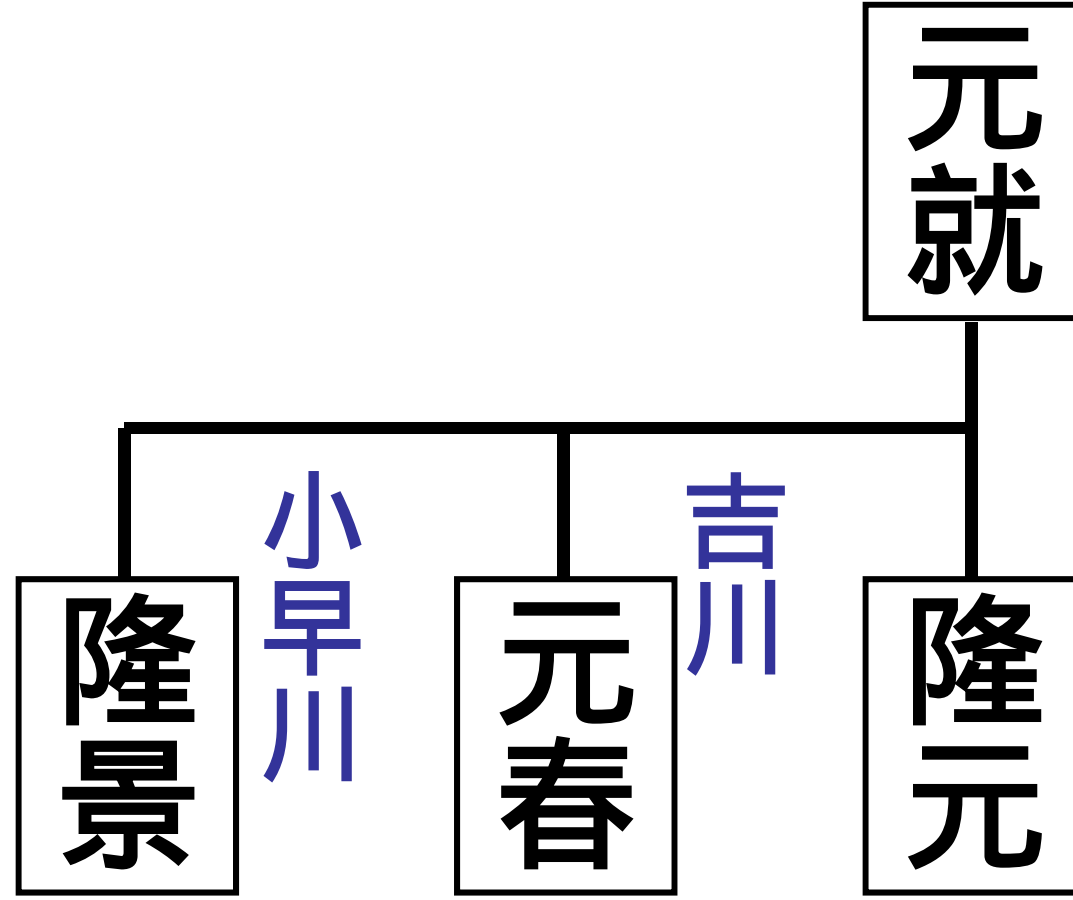
ある時毛利元就はその子の隆たか元・元春・隆景の三人に一つの書きものをわたしました。

その中に「三人とも毛利の家を大せつに思ひ、たがひに少しでも、へだて心をもつてはならぬ。隆元は二人の弟を愛あいし、元春・隆景はよく兄にかへよ。」とありました。又隆元にべつの書きものをわたして、

「あの書きものをまもりとして、家のさかえをはかれよ。」とねんごろにいましめました。それで、兄弟いつしよに名を書きならべた請書うけしょを父にさし出し、「三人が共同して、御いましめをまもります。」とちかひました。

その後隆元は早く死んで、その子の輝元てるもとが家をつぐことになりましたが、元春・隆景はよく元就のいましめをまもり、心を合はせて輝元をたすけたので、毛利家は長くさかえることになりました。





本日の目標

伝説のルーツを解明！

犯人

誰が広めたの？

動機

何のために？

毛利家には、この三本の矢の伝説のもととなった
古文書が存在しています。

ある事なりとも言ふ事又此世字
をいふてはまじき事なり

三人の物事今が通に成る

ト後世千秋萬葉大慶に
ある

一 木を中る毛利とも名実

派を末代までもすなりとある

二 元春後家より身代りて家と名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

の地なりと人毛利と二字を名

一 とにかく毛利という名字が末代までも残るように心がけよ。
二 元春と隆景は他家を継いでいるが、これは当座のことに過ぎぬ。

毛利のことをゆめおそろかに思うなよ。

三 三人が少しでも仲違いしたら、三人ともに滅亡するであろうぞ。

四 元春と隆景は、毛利の家があつてこそ、自分の家も治められるのだということを忘れるな。

五 元春と隆景に不心得があつても、隆元は親心をもつて辛抱せよ。

また、隆元に不心得があつても、元春と隆景は必ず隆元の命令に従え。

六 せめてお前たちの代には、これらの教えをしかと守れよ。

七 それが今は亡き母への孝養でもあるぞ。

八 妹の嫁した宍戸氏も大切にせよ。

九 虫けらのような幼少の弟たちは、遠隔地に置くなど適当に処遇せい。

十 わしは人をたくさん殺してまいつたので、いずれ因果が報いることであろうよ。お前たちも気を付けろよ。

十一 何ひとつ人にすぐれた点のないわし如きが、戦乱の世をすり抜けてこられたのは、不思議なことよ。早く隠居したいのだが、まだ無理かのう。

まだ無理かのう。

十二 毎朝、日の神様を拝め。

十三 同じく巖島明神への信仰も忘れるな。この神の御加護のおかげで、毛利の今日があるのだぞ。

十四 わしの願いは以上だ。

一 とにかく毛利という名字が末代までも残るように心がけよ。
二 元春と隆景は他家を継いでいるが、これは当座のことに過ぎぬ。

毛利のことをゆめおそろかに思ふなよ。

三 三人が少しでも仲違いしたら、三人ともに滅亡するであろうぞ。

四 元春と隆景は、毛利の家があつてこそ、自分の家も治められるのだということを忘れるな。

五 元春と隆景に不心得があつても、隆元は親心をもつて辛抱せよ。

また、隆元に不心得があつても、元春と隆景は必ず隆元の命令に従え。

六 せめてお前たちの代には、これらの教えをしかと守れよ。

七 それが今は亡き母への孝養でもあるぞ。

八 妹の嫁した穴戸氏も大切にせよ。

九 虫けらのような幼少の弟たちは、遠隔地に置くなど適当に処遇せい。

十 わしは人をたくさん殺してまいったので、いずれ因果が報いることであろうよ。お前たちも気を付けろよ。

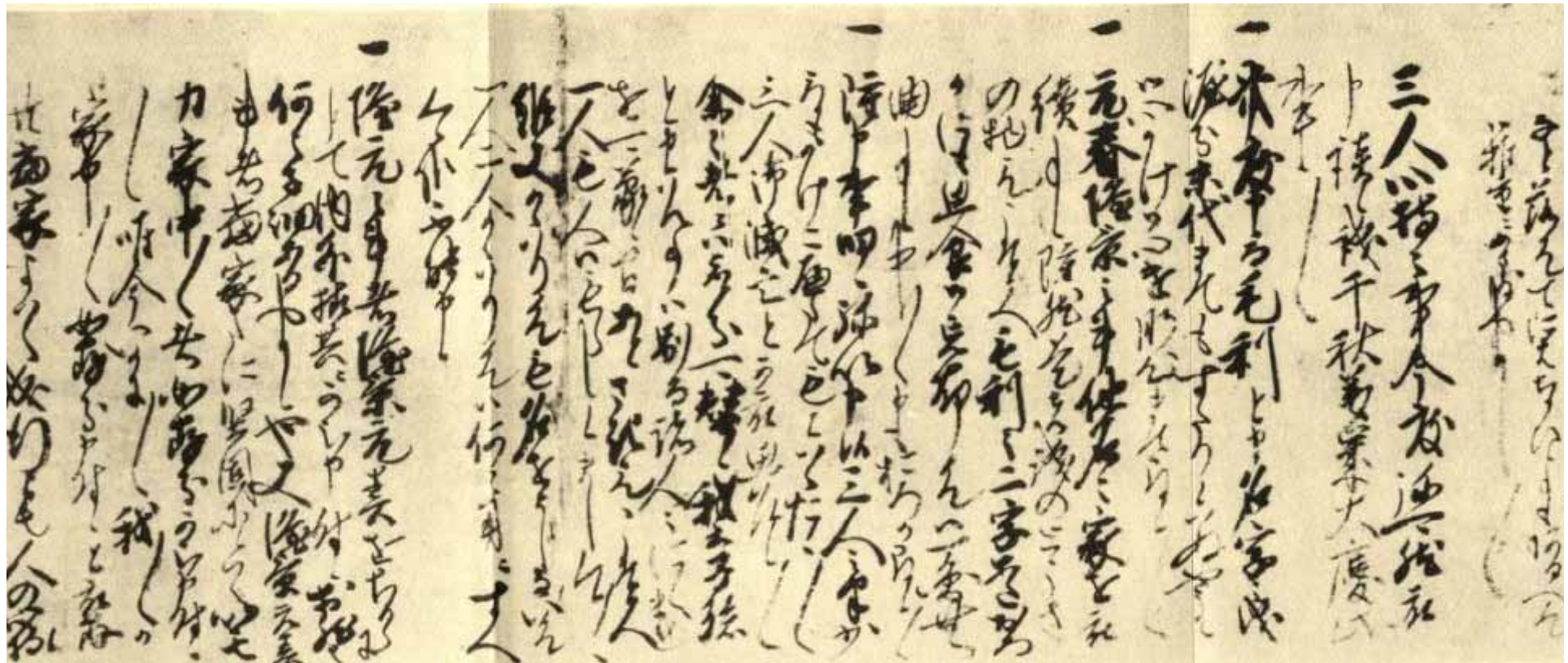
十一 何ひとつ人にすぐれた点のないわし如きが、戦乱の世をすり抜けてこられたのは、不思議なことよ。早く隠居したいのだが、まだ無理かのう。

三矢伝説の犯人は？

この14ヶ条教訓状の存在が世に広まって
三本の矢の伝説になった。

秘蔵の文書を...

広めたのは誰？



『老翁物語』という本に引用されて広まっている。

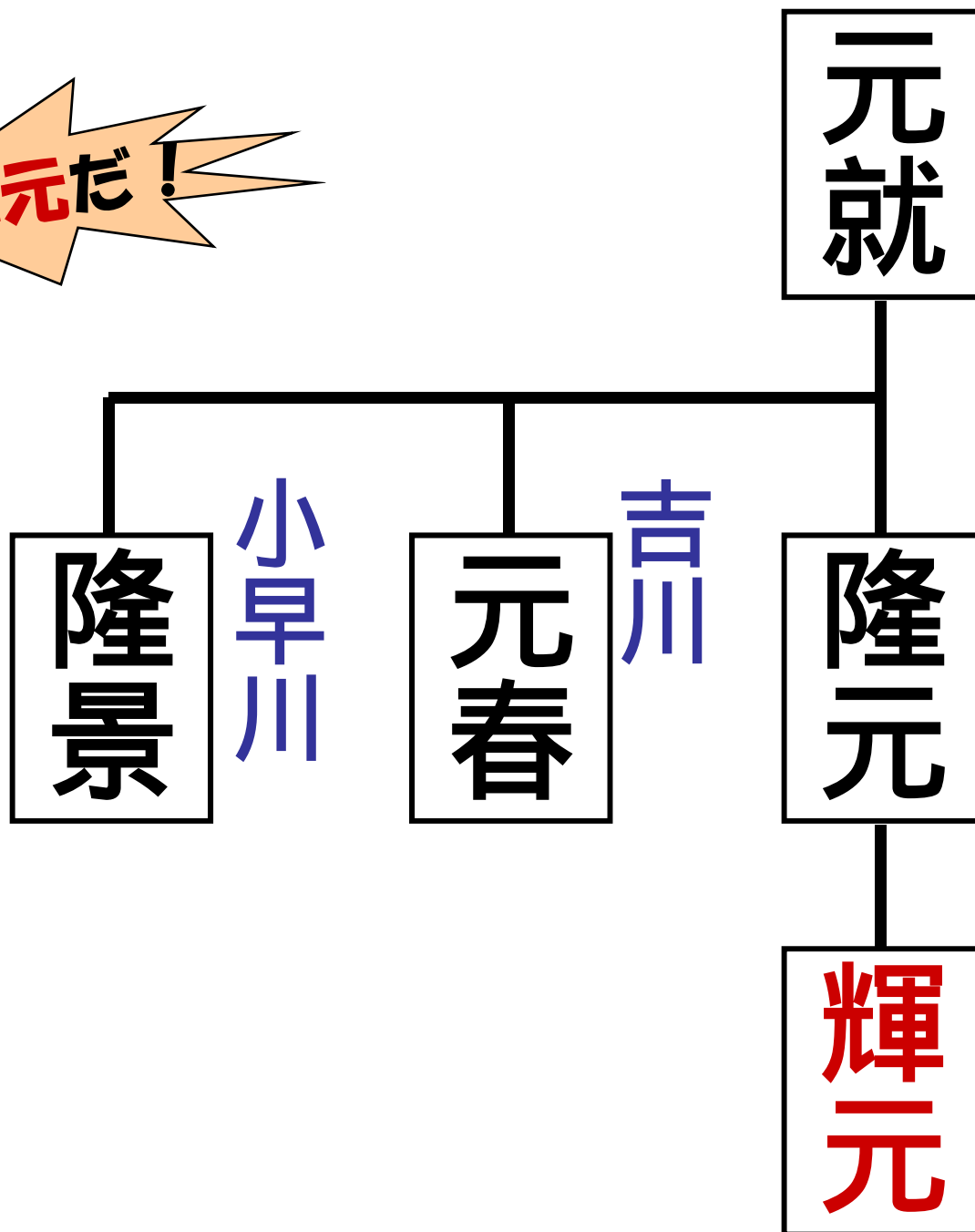
情報源について、作者 = 小田木工允の説明



毛利輝元公が家臣を集めて

祖父元就の自筆教訓状を読み聞かせたのを
そばにいて、書き留めた。

犯人は輝元だ！



犯人は輝元だ！

動機は？

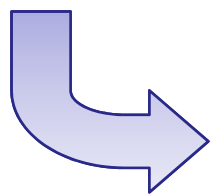
輝元は、たくさんある祖父元就の文書のなかから、なぜ、この14ヶ条教訓状を選んだのか？



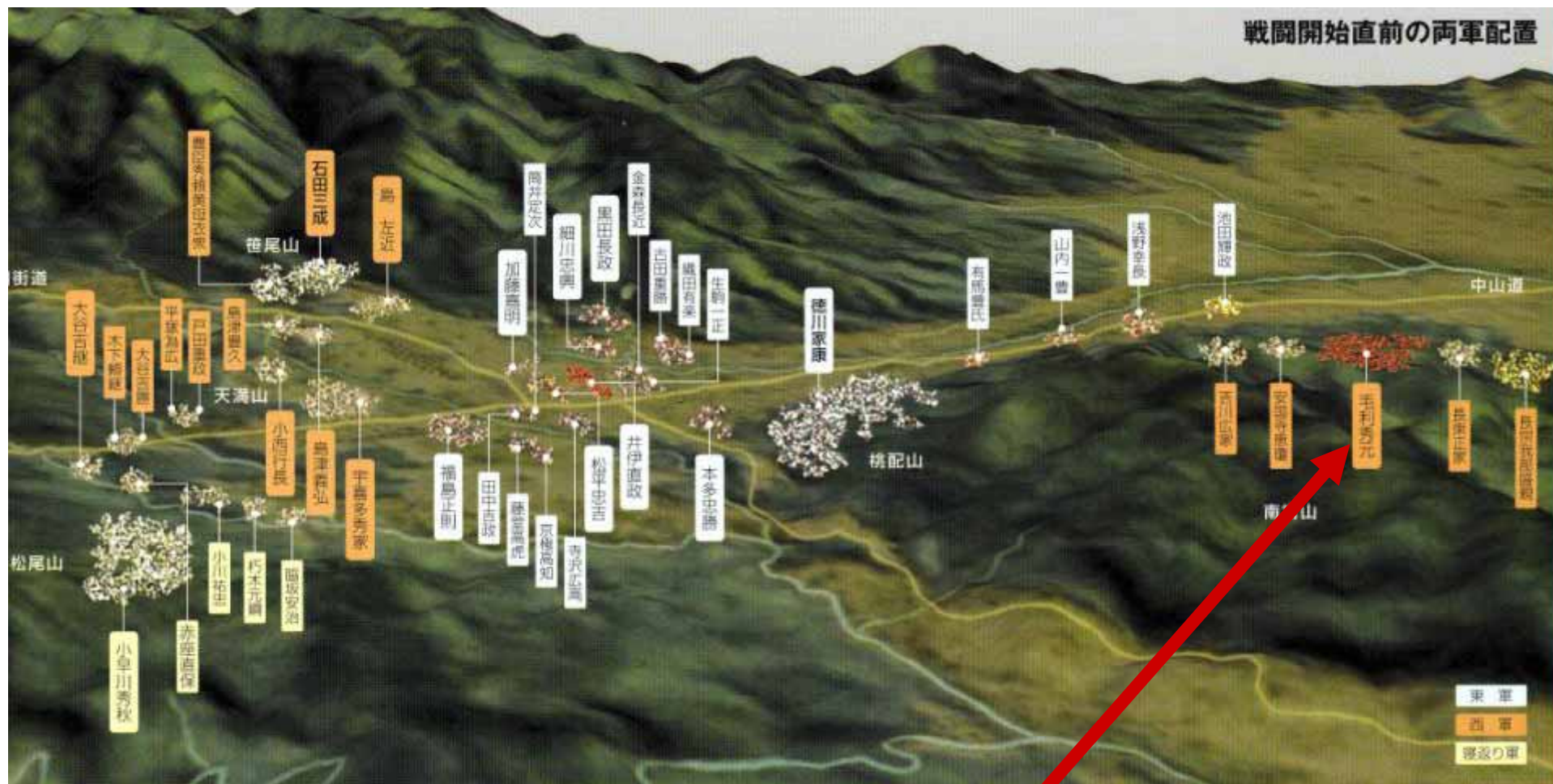
輝元の身辺を探ってみた・・・



輝元がこの祖父の教訓状を持ち出すのは、
ある特定の時期に集中している。



関ヶ原合戦で負けた直後

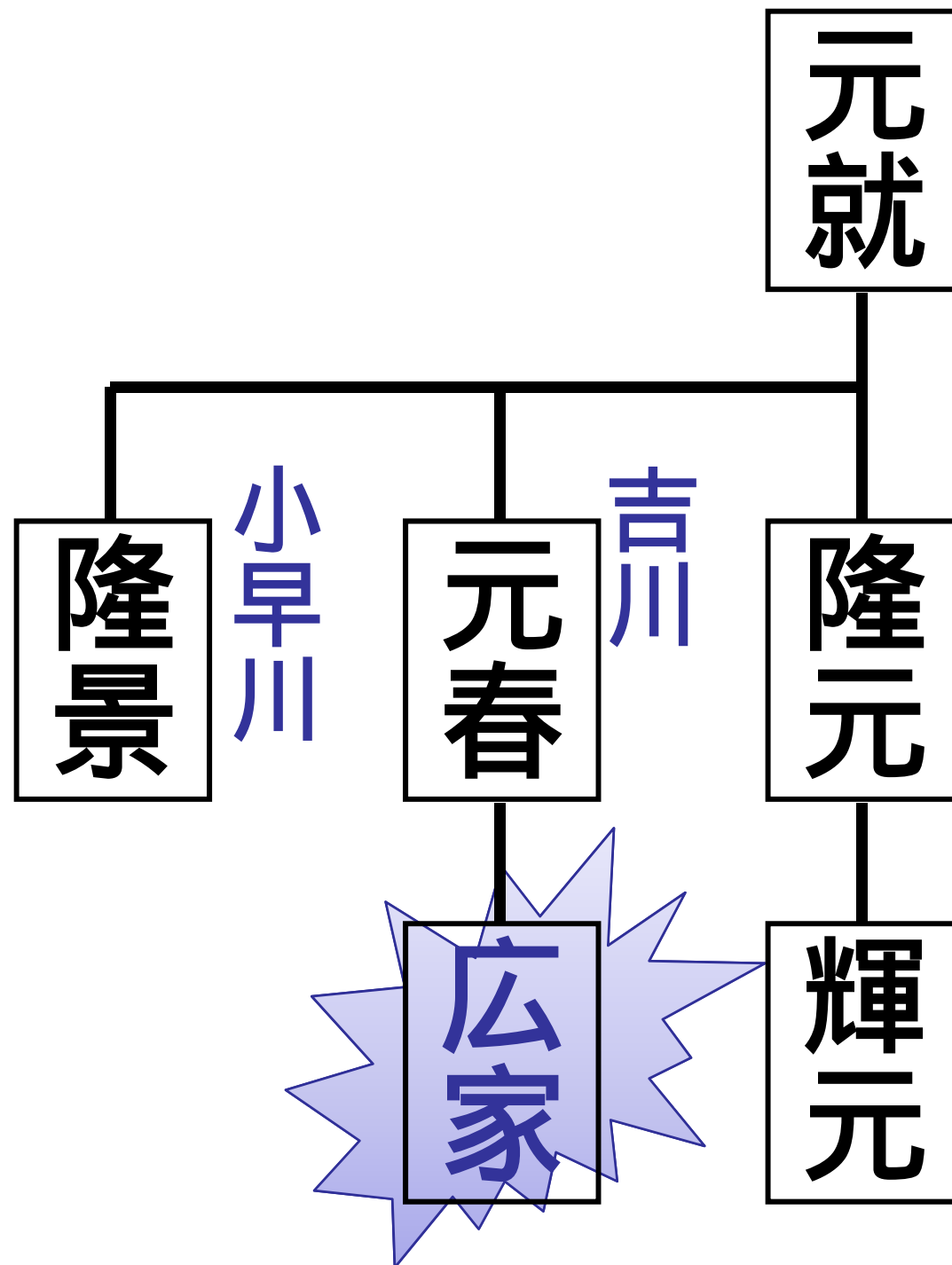


毛利軍、動かずして敗北を迎える

図：『再現日本史』織豊10 講談社 より



敵の家康と交渉して毛利家の存続を
確保した**救世主**があらわれた。



広家の嘆願

当主輝元様は家康様への叛意などござらぬ。
何とか今まで通りの領地を認めていただきたい。

家康の返答

輝元の反逆は明白じゃ。律儀な広家に
毛利の領地のうち1 - 2ヶ国を与えようぞ。

広家の驚愕

そ、そ、それでは私の立場がござらぬ。
何とか本家を立ててくだされ。
どうか、毛利の名字だけでも残るように。

家康の決定

では、毛利に長門と周防の2ヶ国の統治
のみ許そう。あとの6ヶ国は没収じゃ。

タヌキオヤジ家康の陰謀

広家の嘆願

当主輝元様は家康様への叛意などござらぬ。
何とか今まで通りの領地を認めていただきたい。

この時点ですでに広家の辞退を予想していただろう。

家康の返答

輝元の反逆は明白じゃ。律儀な広家に
毛利の領地のうち1 - 2ヶ国を与えようぞ。

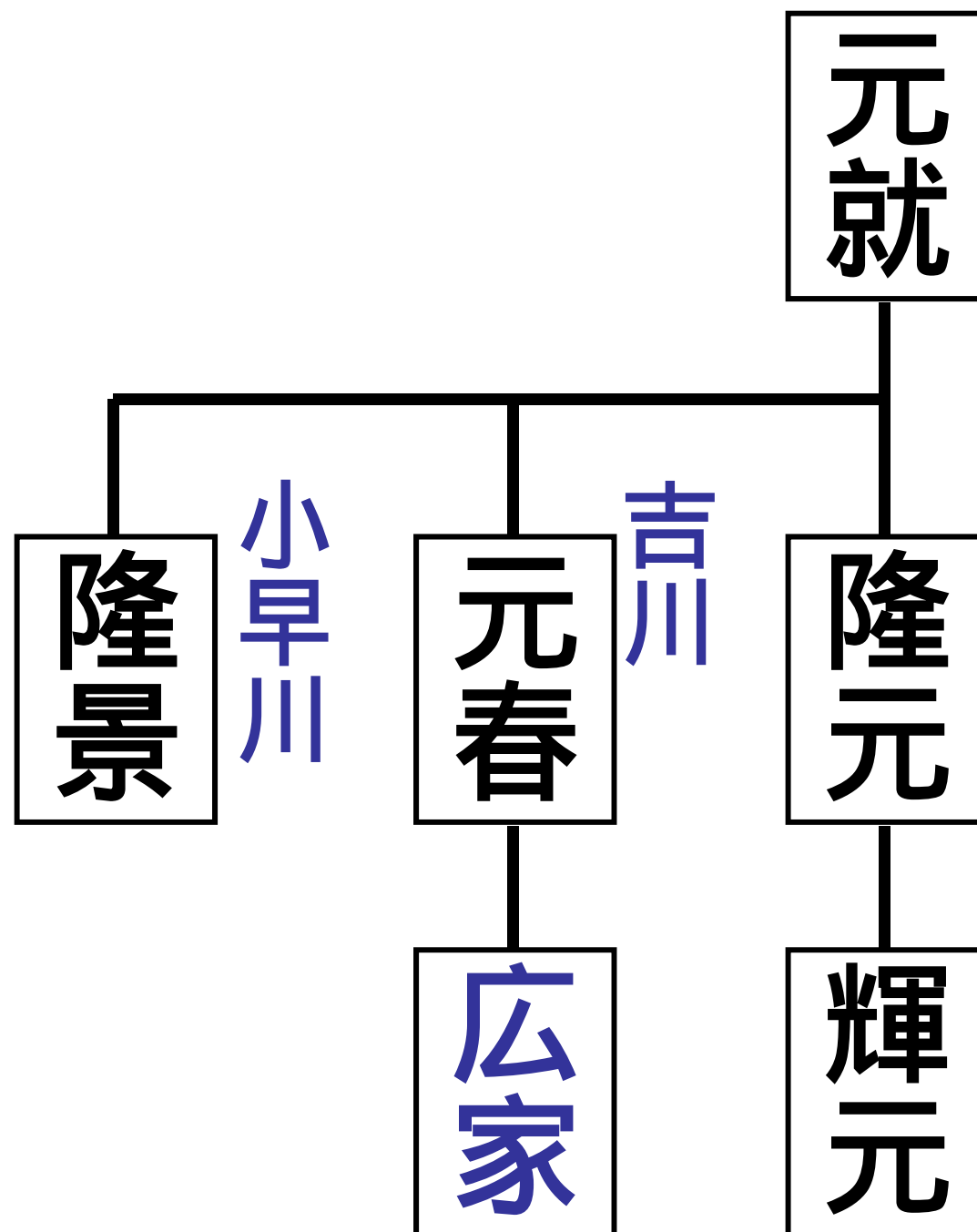
広家の驚愕

そ、そ、それでは私の立場がござらぬ。
何とか本家を立ててくだされ。
どうか、毛利の名字だけでも残るように。

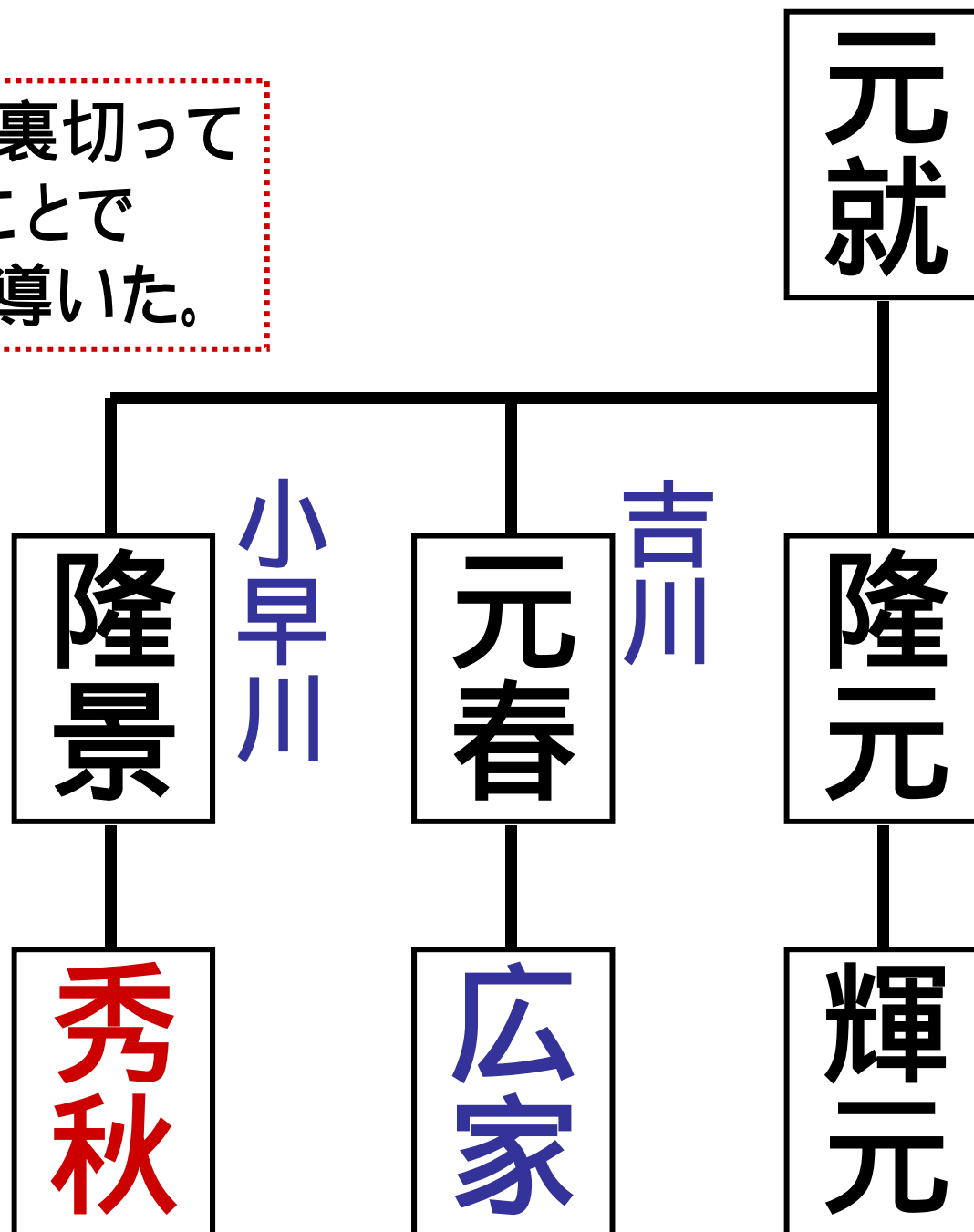
家康の決定

では、毛利に長門と周防の2ヶ国の統治
のみ許そう。あとの6ヶ国は没収じゃ。

ならばなぜ、広家に与える、という提案をしたのか？

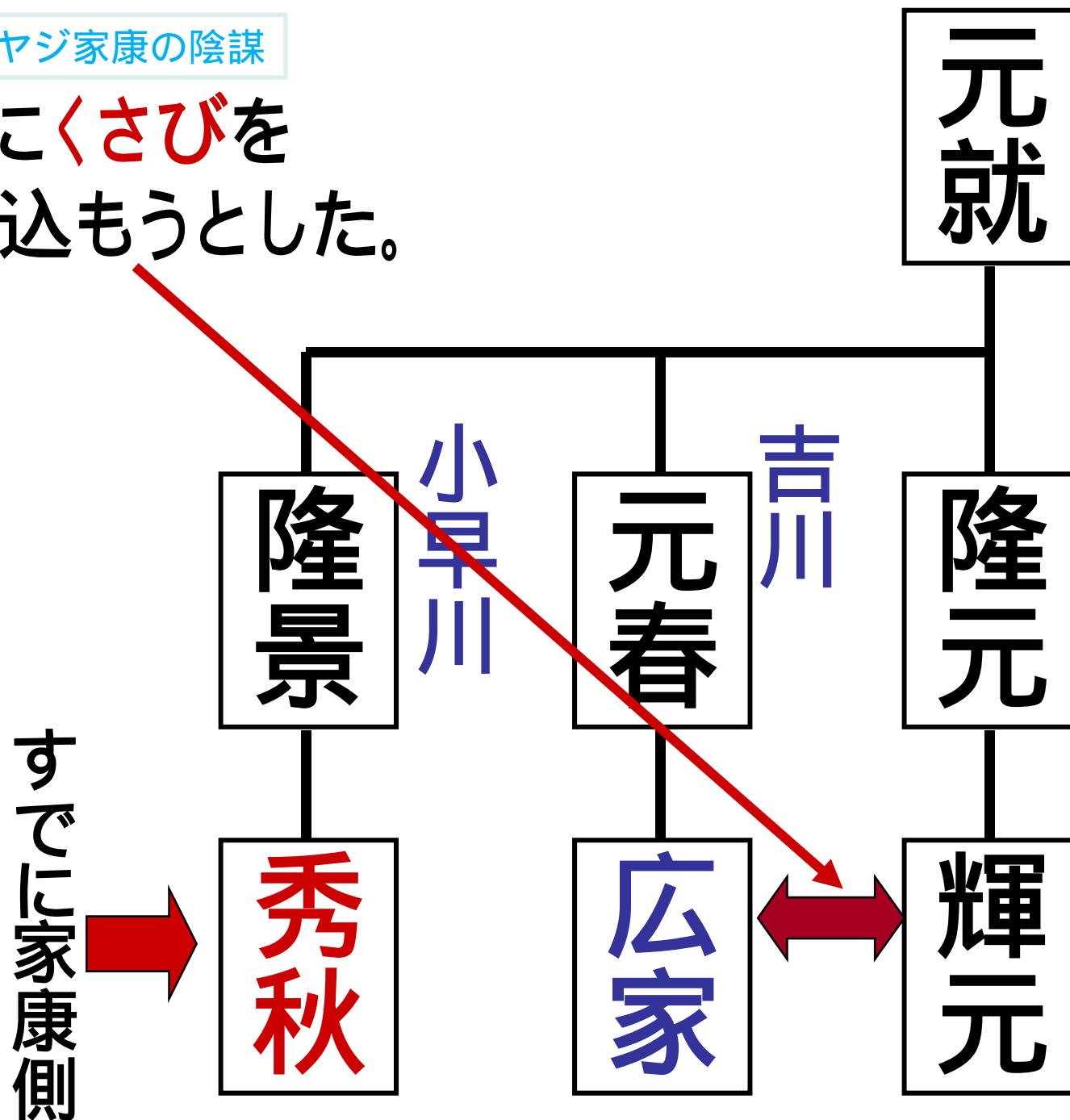


戦いの最中に裏切って
家康側に付くことで
東軍を勝利に導いた。



タヌキオヤジ家康の陰謀

ここにくさびを
打ち込もうとした。



広家が辞退したおかげで毛利本家が存続

元就

分家 = 吉川家
の立場強くなる

本家 = 毛利家
は分家に借り

隆景

小早川

元春

吉川

隆元

秀秋

広家

不和

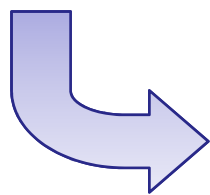
輝元

天下分け目の戦に負けて領地を4分の1に減らされた上に
家中の団結を揺さぶる狡猾な家康(59歳)の策謀が...

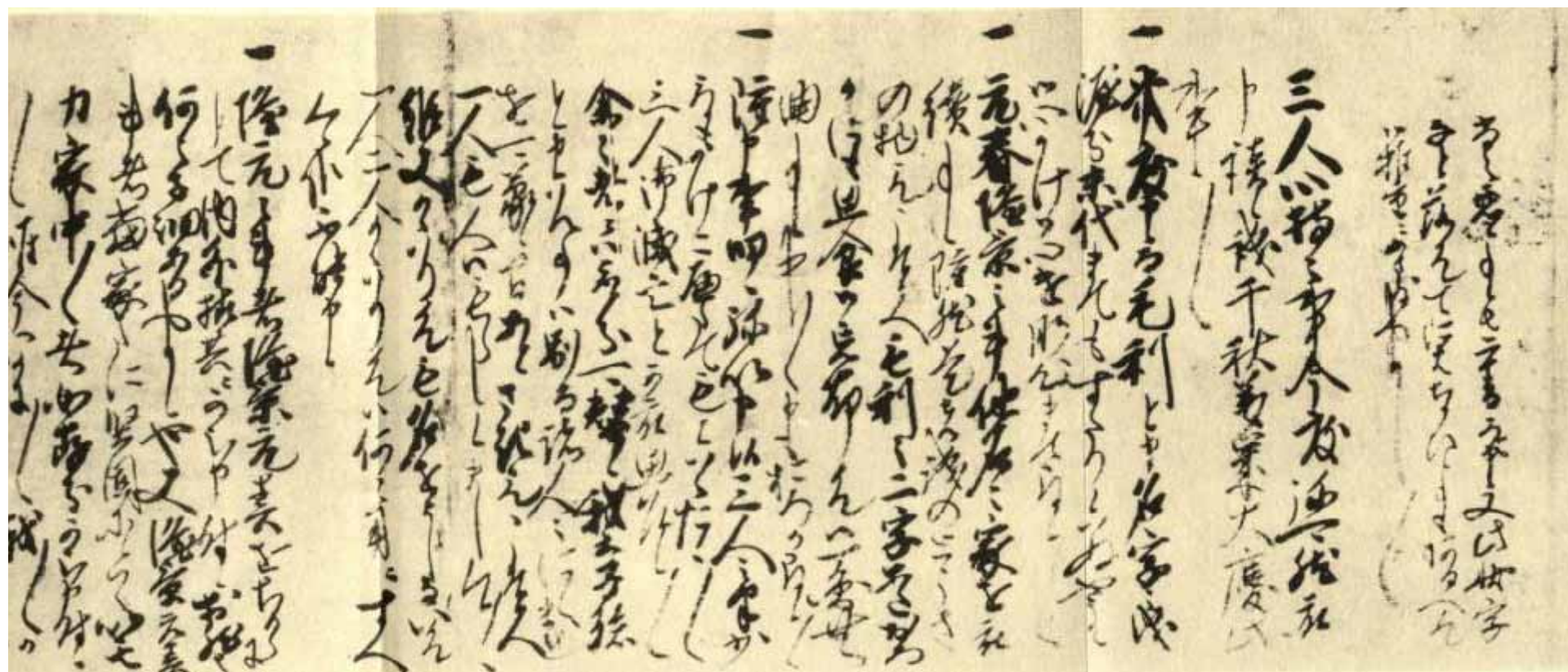
輝元(48歳)はどうしたか？



輝元がこの祖父の教訓状を持ち出すのは、
ある特定の時期に集中している。



関ヶ原合戦で負けた直後



祖父の古文書に託した輝元のせつない願い・・・

毛利は団結が命！ おじいさまの遺訓を守って、この危機を乗り切ろう。

本日の目標

伝説のルーツを解明！

犯人

誰が広めたの？

動機

何のために？



毛利元就の孫、毛利輝元が



関ヶ原敗北後の家康の揺さぶりに対抗
するために、祖父の教訓状を持ち出し
て、家中をまとめようとした。

さらに驚愕の真実が・・・

第二十三 共同

ある時毛利元就はその子の隆たか元・元春・隆景の三人に一つの書きものをわたしました。

その中に「三人とも毛利の家を大せつに思ひ、たがひに少しでも、へだて心をもつてはならぬ。隆元は二人の弟を愛あいし、元春・隆景はよく兄にかへよ。」とありました。又隆元にべつの書きものをわたして、



て、「あの書きものをまもりとして、家のさかえをはかれよ。」とねんごろにいましめました。それで、兄弟いつしよに名を書きならべた請書うけがきを父にさし出し、「三人が共同して、御いましめをまもります。」とちかひました。

その後隆元は早く死んで、その子の輝元てるもとが家をつぐことになりましたが、元春・隆景はよく元就のいましめをまもり、心を合はせて輝元をたすけたので、毛利家は長くさかえることになりました。

十四ヶ条の教訓状に答えて子供たちが出した請書

一 三人が少しでも仲違いしたら、三人ともに滅亡するとの仰せ、しかと承りました。

二 子孫は知らず、私たちの代には、この教えを守る覚悟です。

三 それが今は亡き母への孝養にもなると納得いたしました。

四 妹の嫁した穴戸氏も大切にいたします。

五 父上が人をたくさん殺した因果が報いないよう、私どもは身をつつしみます。

六 まだまだ父上の力が必要だと隆元より縷々お願い申し上げましたところ、隠居を思いとどまってくださって、ありがとうございます。

七 毎朝、日の神様を拝めとの仰せ、本望にございます。

八 巖島明神もしっかり信仰する覚悟です。

九 右の各条を堅く守ります。

あれ？ 9ヶ条しかない・・・

元就→3子 教訓状

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

9	8	7	6	5	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---

3子→元就 請書

元就→3子 教訓状

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

9	8	7	6	5	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---

3子→元就 請書

元就→3子 教訓状

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

9	8	7	6	5	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---

3子→元就 請書

①とにかく毛利という名字が末代までも残るように心がけよ。

②元春と隆景は他家を継いでいるが、これは当座のことに過ぎぬ毛利のことをゆめおそろかに思うなよ。

③三人が少しでも仲違いしたら、三人ともに滅亡するであろうぞ

④元春と隆景は、毛利の家があつてこそ、自分の家も治められるのだということを忘れるな。

⑤元春と隆景に不心得があつても、隆元は親心をもつて辛抱せよまた、隆元に不心得があつても、元春と隆景は必ず隆元の命令に従え。

⑥せめてお前たちの代には、この世の教えをしかと守れよ。

⑦それが今は亡き母への孝養であるぞ。

⑧妹の嫁した穴戸氏も大切にせよ。

⑨虫けらのような幼少の弟たちは、隔地に置くなど適当に処遇せい。

⑩わしは人をたくさん殺してまいつたので、いずれ因果が報いることであろうよ。お前たちも気を付けよう。

⑪何ひとつ人にすぐれた点のないわし如きが、戦乱の世をすり抜けてこられたのは、不思議なことだが、早く隠居したいのだが、まだ無理かのう。

⑫毎朝、日の神様を拝め。

⑬同じく厳島明神への信仰も忘れるな。この神の御加護のおかげで、毛利の今日があるのだぞ。

1 2 4 5 9 に共通することは・・・

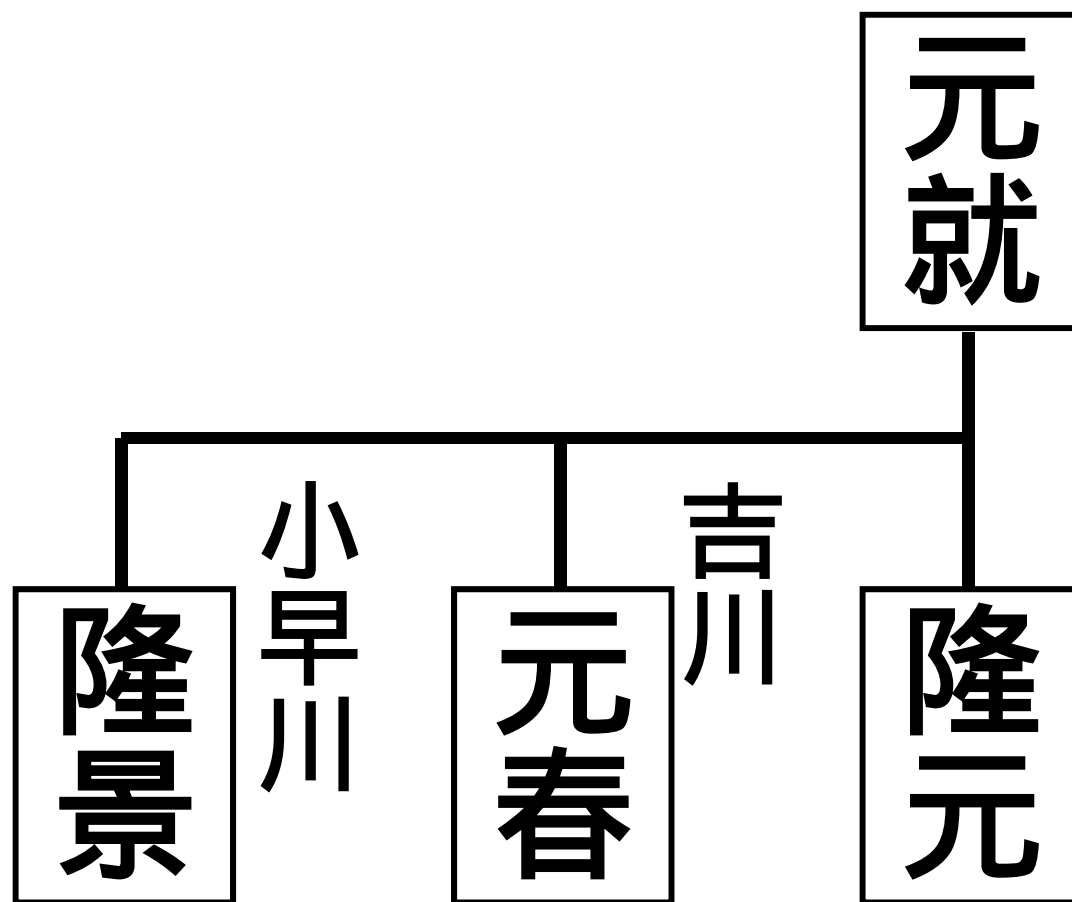
五 元春と隆景に不心得があっても、隆元は親心をもつて辛抱せよ。

また、隆元に不心得があっても、元春と隆景は必ず隆元の命令に従え。



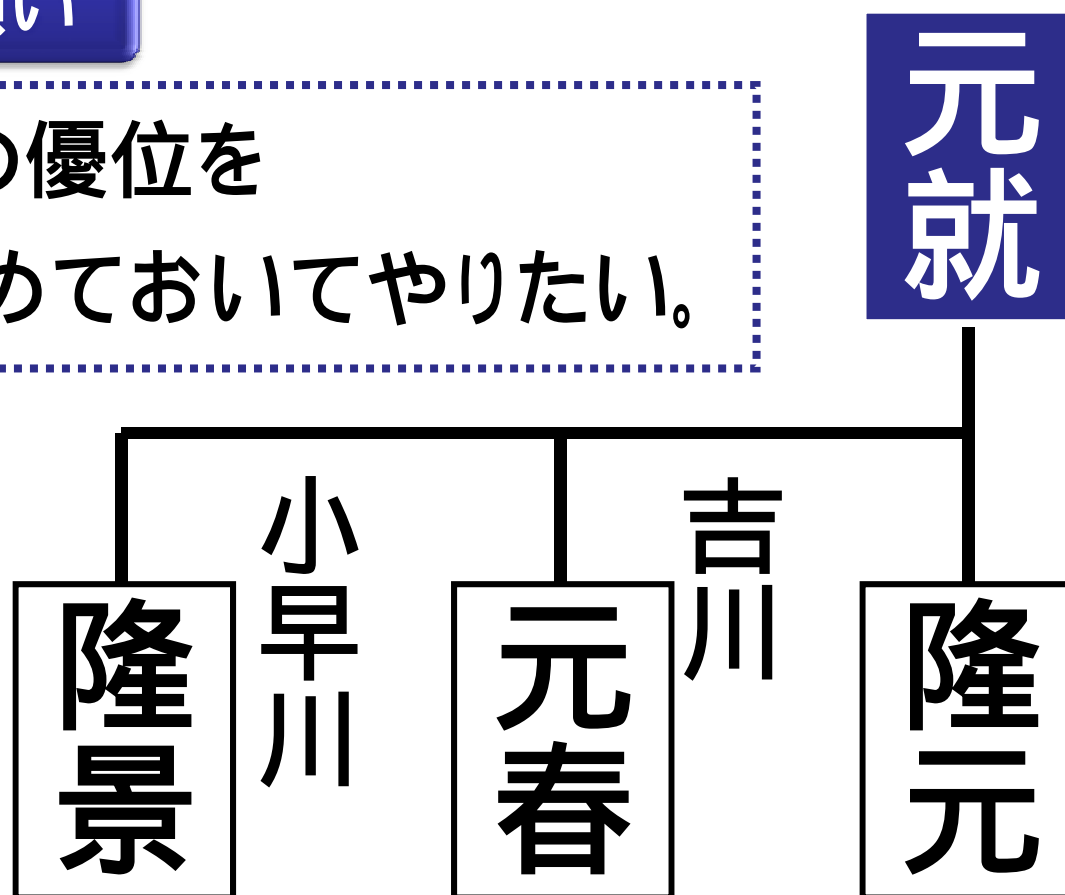
発見

兄＞弟 と規定した条文が、
ことごとく拒絶されている！



親 = 元就の願い

長男隆元の優位を
しっかり固めておいてやりたい。



親 = 元就の願い

長男隆元の優位を
しっかり固めておいてやりたい。

元就

親子の対立

隆景

小早川

元春

吉川

隆元

子 = 元春・隆景の言い分

兄の優位は認めない。自分の家もだいじ。

元就→3子 教訓状

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

9	8	7	6	5	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---

3子→元就 請書

請書の分析から判明したのは・・・

第二十三 共同

ある時毛利元就はその子の隆たか元・元春・隆景の三人に一つの書きものをわたしました。

その中に「三人とも毛利の家を大せつに思ひ、たがひて少しでも、へだて心をもちならぬ。隆元は二人し、元春・隆景はよかへよ。」とありまし

大ウソだ！



て、「あの書きものをまわして、家のさかえをはかれよ。」とねんごろにいましめました。それで、兄弟いつしよに名を書きならべた請書うけしょを父にさし出し、「三人が共同して、御いましめをまもります。」とちかひました。

その後隆元は早く死んで、その子の輝元てるもとが家をつぐことになりましたが、元春・隆景はよく元就のいましめをまもり、心を合はせて輝元をたすけたので、毛利家は長くさかえることになりました。

ま と め

本日の目標

伝説のルーツを解明！

犯人

誰が広めたの？

動機

何のために？



毛利元就の孫、毛利輝元が



関ヶ原敗北後の家康の揺さぶりに対抗
するために、祖父の教訓状を持ち出し
て、家中をまとめようとした。

元就→3子 教訓状

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
----	----	----	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

9	8	7	6	5	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---

3子→元就 請書

請書の分析から判明したのは・・・

親 = 元就の願い

長男隆元の優位を
しっかり固めておいてやりたい。

元就

親子の対立

隆景

小早川

元春

吉川

隆元

子 = 元春・隆景の言い分

兄の優位は認めない。自分の家もだいじ。

伝説の飾りをはがしてゆくと

血の噴き出るようなドラマが...

出題

一

の衆へ



わしの気持ちを
代弁してくれんかのう

二択じゃ

☐ 1557年11月25日

十四箇条の教訓状執筆時点

☐ 1600年9月15日

関ヶ原合戦直後 （幽霊として）

☐ まさかの徳川家康

出題

の衆へ



子や孫らの気持ちが
知りたいのう

1557年11月25日

四折じゃ

☐ 長男 隆元

☐ 次男 元春

☐ 三男 隆景

1600年9月15日

☐ 孫 輝元